

◆ 発 言 者 ◆



◆「山形県産木材のブランド確立と 地産地消リサイクルを目指して」

協同組合やまがたの木乾燥センター 理事長 岩浪 春吉 氏

国産材利用促進に県産材の利用促進に向けた気運が高まっている中で、庄内地域の豊富で優秀なスギ材を製材工場から出る木くずを原料としたバイオマスボイラーを設置、地球環境に配慮しながら木材の人工乾燥による高品質な木材製品の安定供給を目的に、設立した。組合員外からの受託乾燥を行い、地域住宅建築・公共建築物へ寸法精度の高い製品を供給している。乾燥材の大規模生産工場とのコスト競争が激化している。

「公共建築物等木材利用促進に関する法律」の成立を受け、県及び市町村で、県産木材活用を強化するためにも条例の制定を検討していただきたいと発言した。



◆「新たな試作に取り組むものづくり中小企業」

株式会社マイスター 代表取締役 高井 作 氏

大・中メーカーの工場が海外移転して現地調達を強化するなか、国内の仕事量は減少かつ価格の値引要請が強くなってきている。このようなことから仕事減、売値安、材料高が続いている。中央会で山形県地域事務局を行っている「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発支援補助金」で採択され、現在、新たな形状研削の試作加工に取り組んでいるところである。全国組織として「切削フォーラム21」を平成11年に設立し、「切削」をキーワードとして、全国の機械加工96企業が連携し、専門技術の研修会開催や情報の共有・相互受注などを通して「ライバルから仲間へ」を合言葉に会員活動を行っている。

業界展望が描きにくい現状の中、開発型の産業興しに向けた山形版の補助金制度の創設をお願いしたいと発言した。



◆「異業種の専門知識を有する個人が結集。 知事の認可を受け設立」

アトリエ・ミューズ企業組合 理事長 真田 節子 氏

メイクアップアーティストと印刷物の企画編集に携わってきた。一緒に事業をしていくことで新たな展開が考えられると思い企業組合を立ち上げました。

現在は、若者就職支援センターの事業「若者に役立つメイクアップセミナー」や各自治体の様々な年齢の女性に対するセミナーを行っています。また、婚活のためのセミナー、高齢者層や介護をしている方へのメイクレッスン、印刷物、広告の企画編集、イベントや講座等のプランニングを行っています。

組合として、県の婚活事業に「ビューティーセミナー」を導入していただきたいと発言した。

発表後、吉村知事は、今回の意見などを今後の県政運営に生かしていきたと述べた。

その後、「山形県中小企業団体中央会会員の集い懇親会」を開催し、吉村知事との懇談や会員同士で情報交換を実施した。

